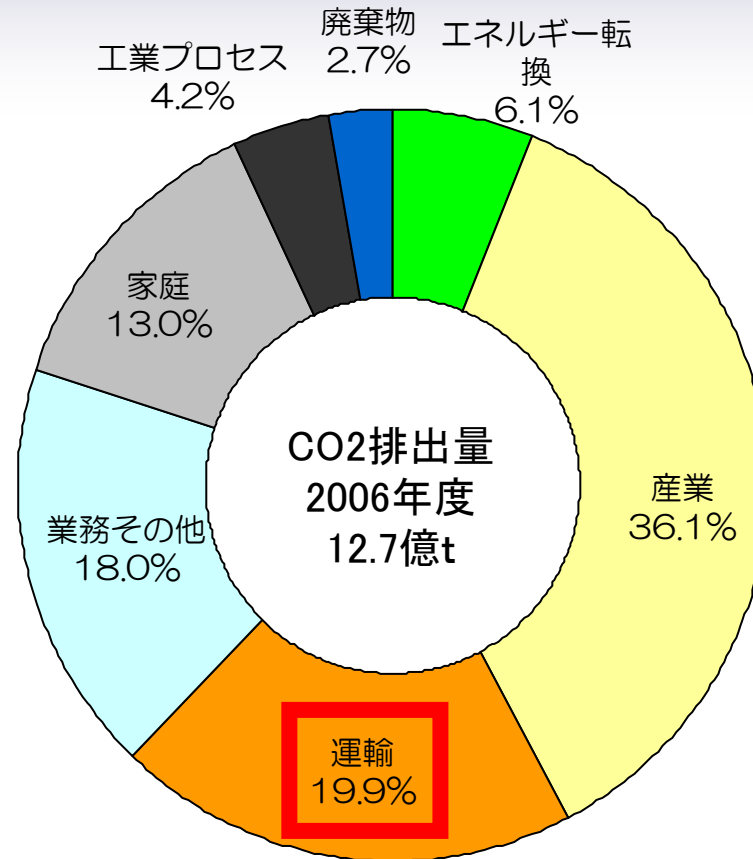


エコモビリティライフ先進県あいちをめざして

名古屋大学大学院環境学研究科
森川 高行

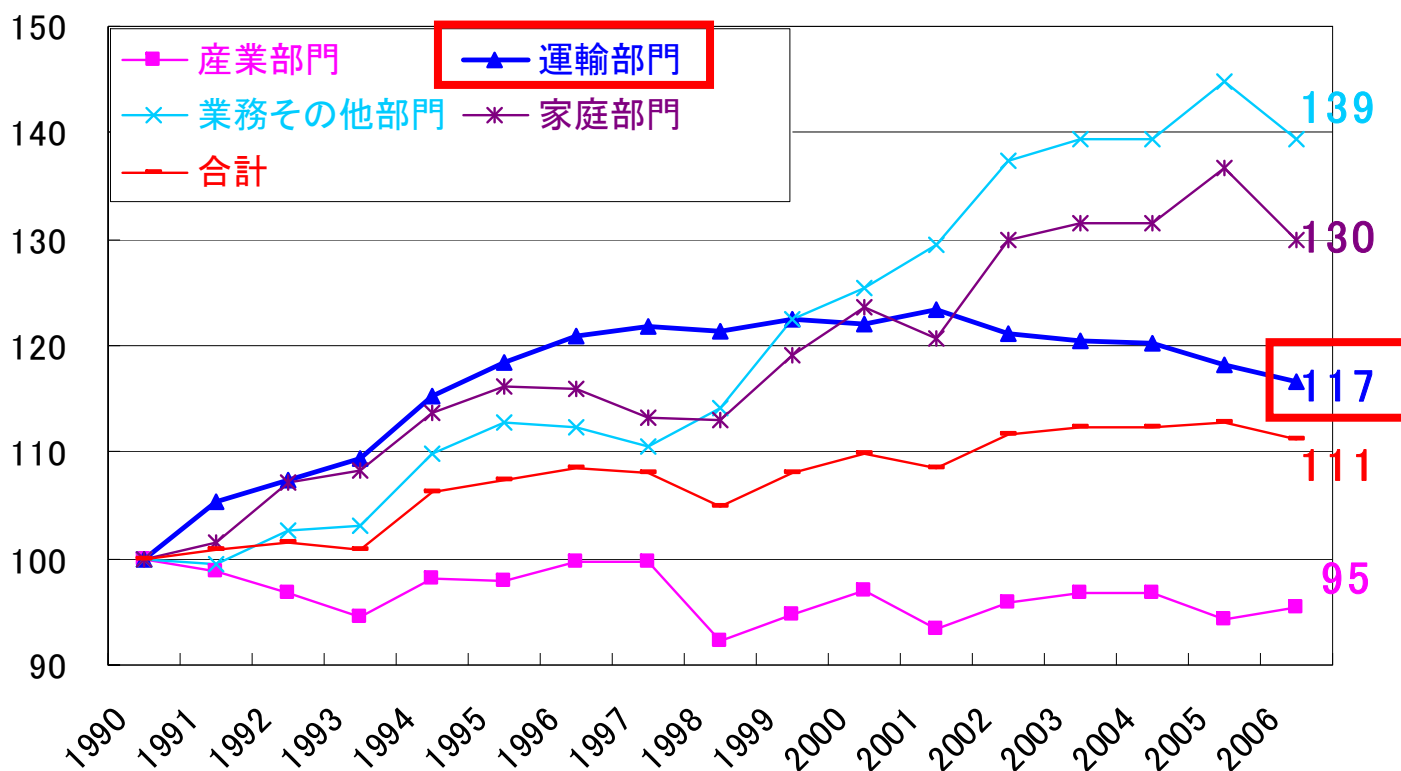


CO2排出量の2割が運輸部門から



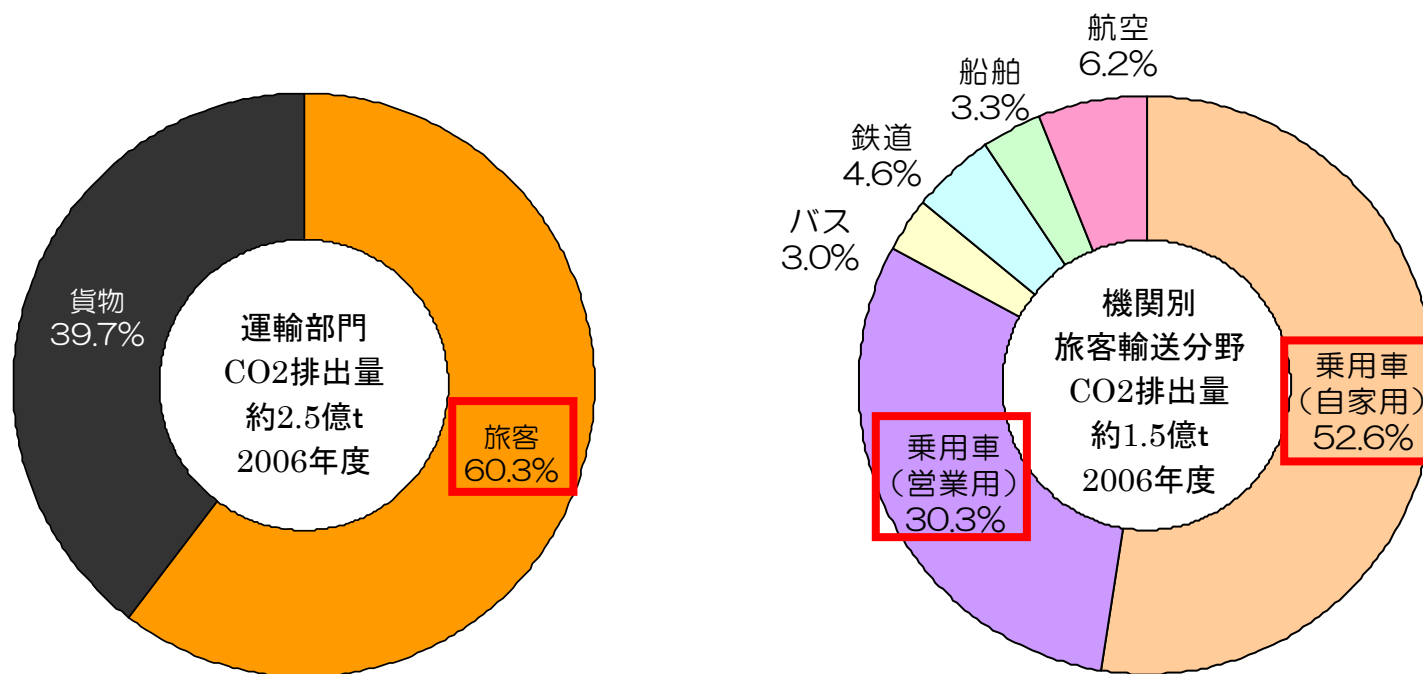
部門ごとのCO2排出量の増減率

1990年度を100とすると、2006年度までの増減率では、業務その他部門139、家庭部門130、運輸部門117と伸び率は高い。



運輸部門からのCO2排出量

運輸部門の6割を占める旅客輸送分野のうち、家庭や業務で利用される乗用車が8割（運輸全体でも5割）を占める。



※旅客輸送分野のうち、自家用車のCO2排出量は、家計利用寄与分を自家用、企業利用寄与分を営業利用として算出

自動車依存型地域のその他の弊害

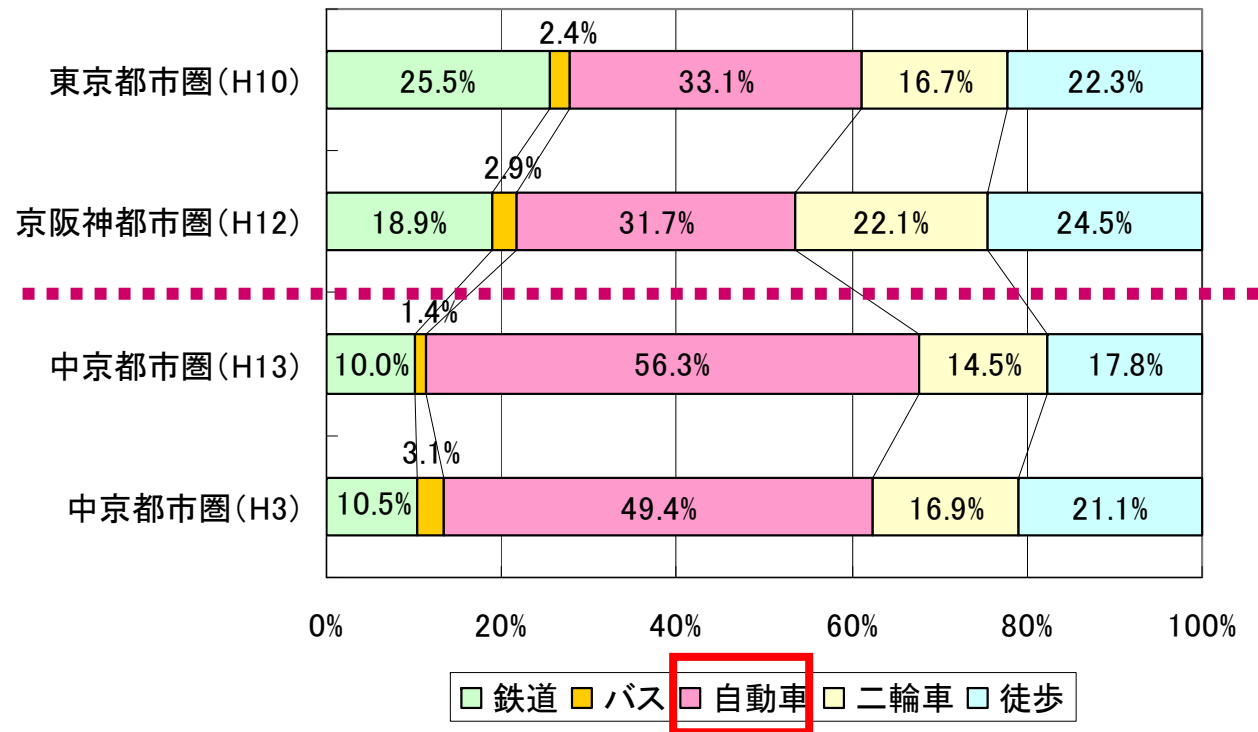
- 自動車利用の増加
- 公共交通利用者の減少
- 都市のスプロール



- 公共交通のサービスの低下、衰退
- 高齢者・若年層のモビリティの低下
- 中心市街地の衰退

中京都市圏の交通事情

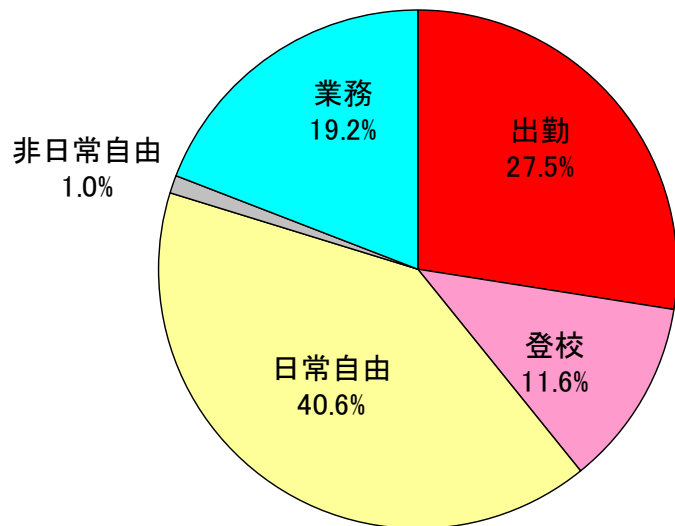
- 中京都市圏では、他の都市圏に比べ「自動車」の分担率が高い
- 中京都市圏の自動車の分担率は増加傾向にあり、平成13年の調査では遂に過半数を超えている。自動車以外の交通機関は全て減少している。



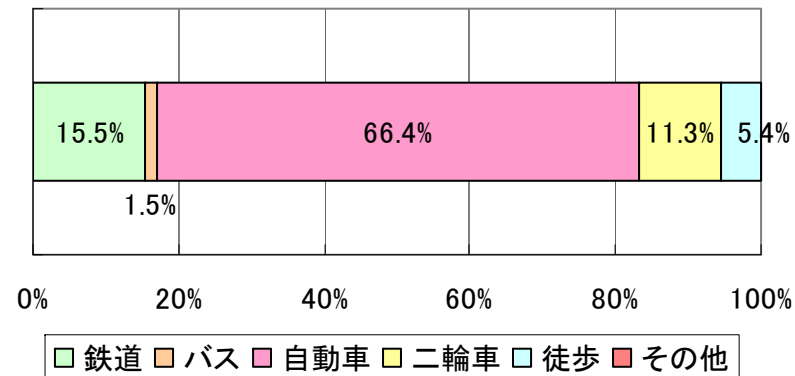
中京都市圏の通勤事情

約3割が出勤トリップであり、そのうちの6割以上が自動車利用。

目的別トリップ数(帰宅目的は除く)



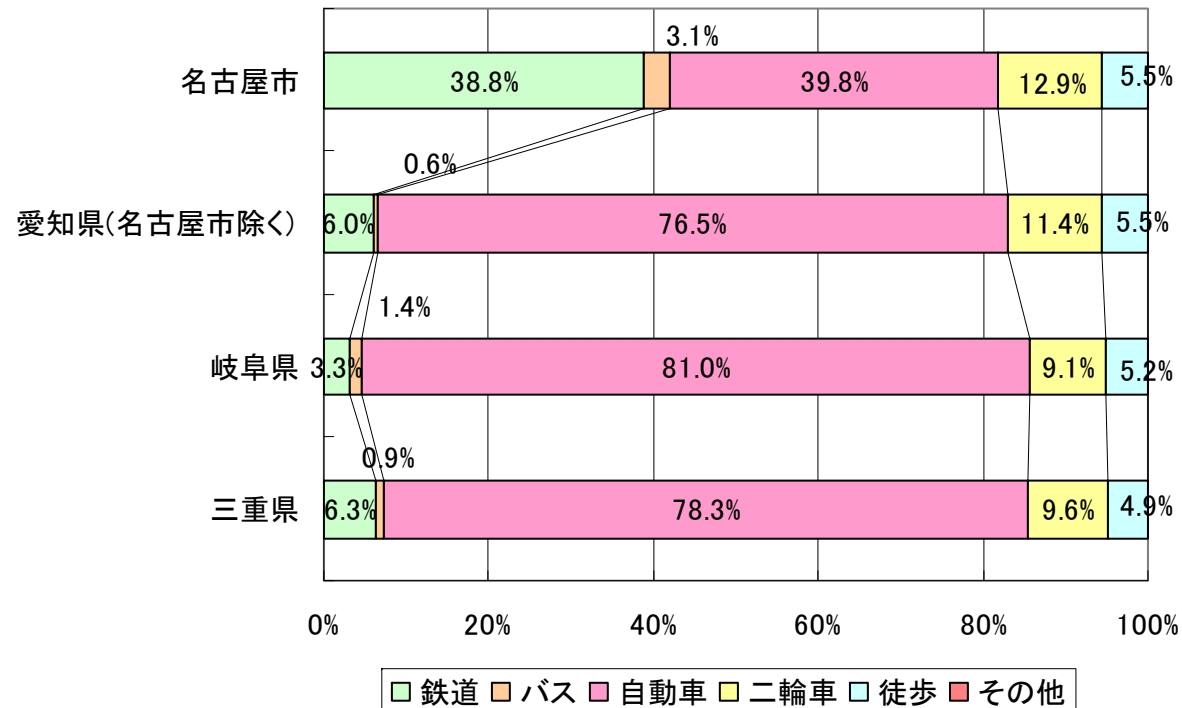
出勤目的の交通手段分担率



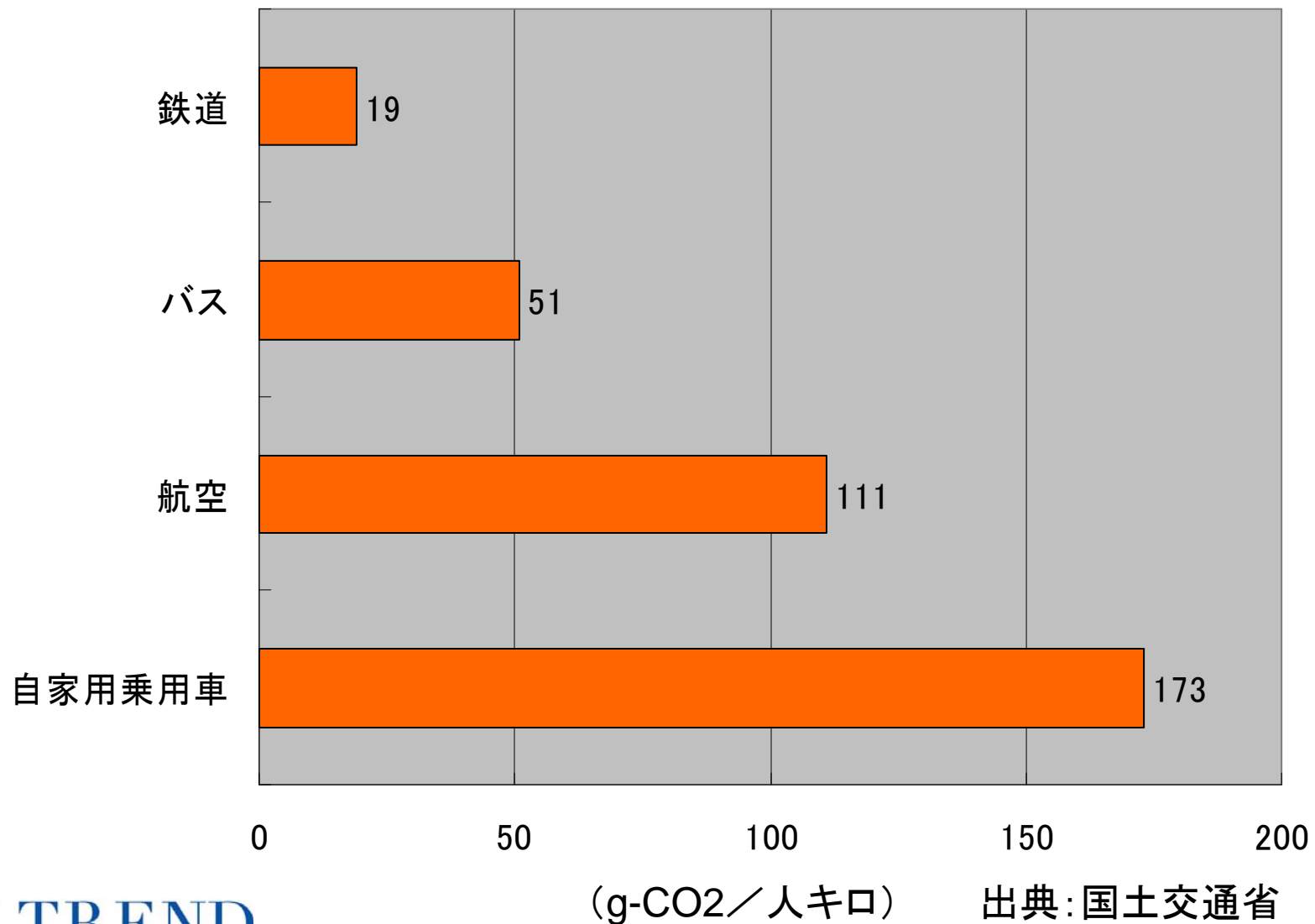
中京都市圏の通勤事情

名古屋市到着分で自動車の分担率は40%。愛知県(名古屋市除く)、岐阜県、三重県到着分では約80%が自動車。

通勤交通の到着地別交通手段分担率



交通手段別CO2排出量

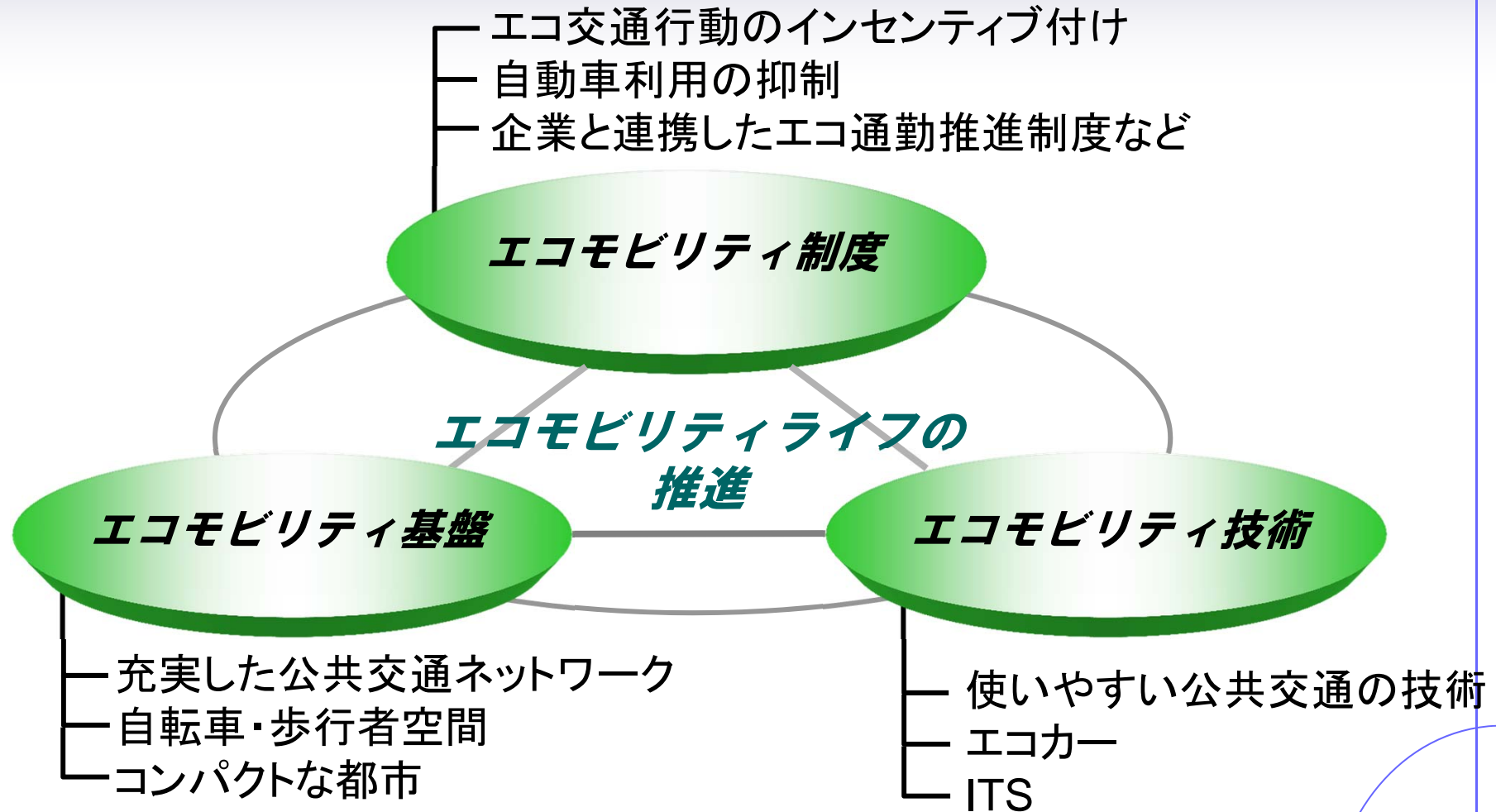


エコモビリティライフとは

交通による環境負荷を下げるため、行き先や目的などに応じて、自動車と公共交通、自転車、徒歩などをかしく使い分けるライフスタイル

- ◎ 鉄道やバスなどの中大量輸送機関の利用
 - パークアンドライドを含む
 - とくに通勤・通学
- ◎ 化石燃料を使わない移動(徒歩・自転車)
- ◎ 環境負荷の小さい車の利用や運転の仕方
- ◎ エネルギーを使う移動を少なくする街やライフスタイル

エコモビリティライフを支える仕組み



乗りたくなる公共交通機関の整備

LRT (Light Rail Transit) の導入

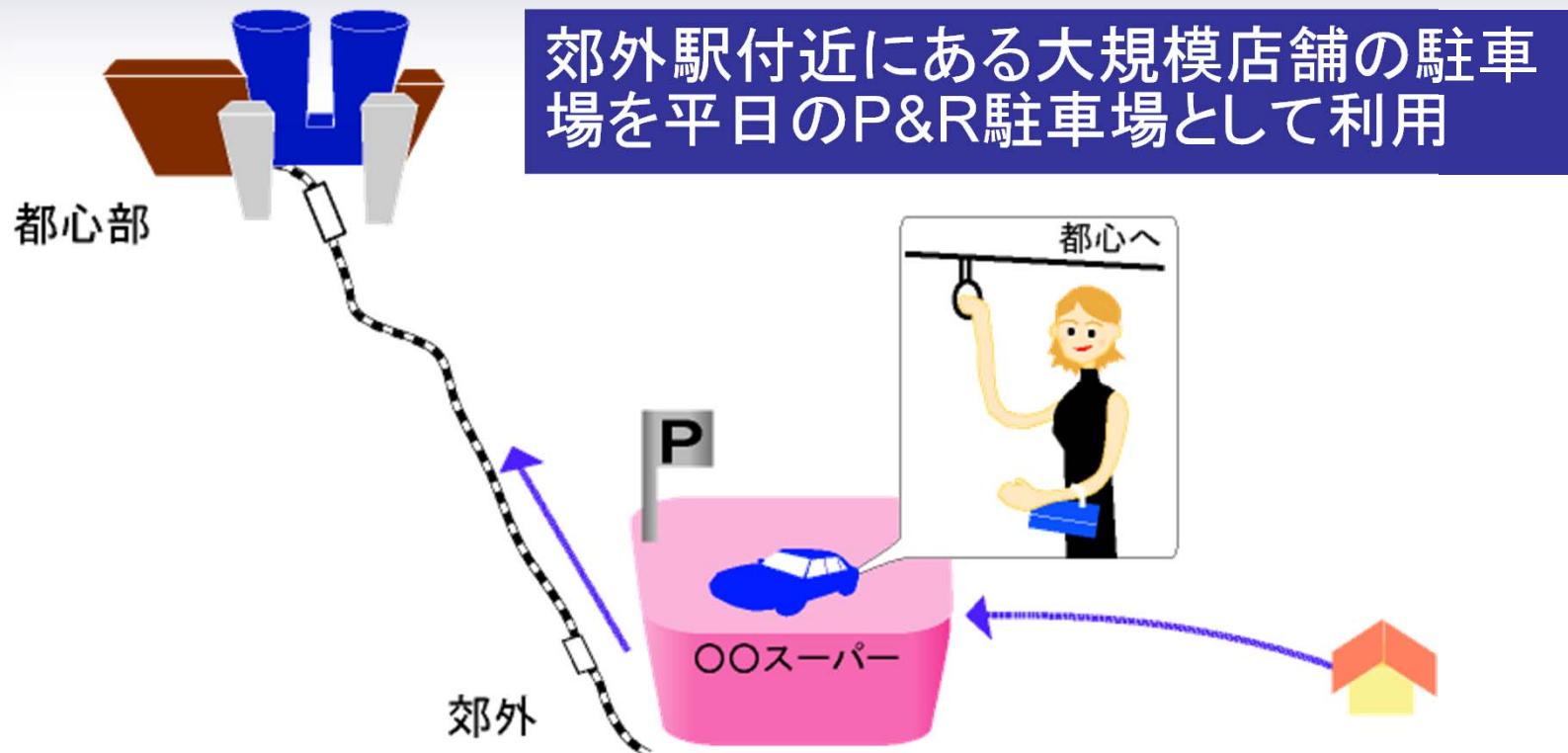
- 路面走行と低床式車両で高齢化社会に対応
- これからの新線に必要な中規模需要に対応
- 斬新なデザインで街をショーアップ
- 車窓から街を眺める視点
- 都心部でのトランジット・モール化で中心市街地の魅力アップ
- 建設費は地下鉄の10分の1程度



名古屋の若宮大通にLRTを導入したイメージ

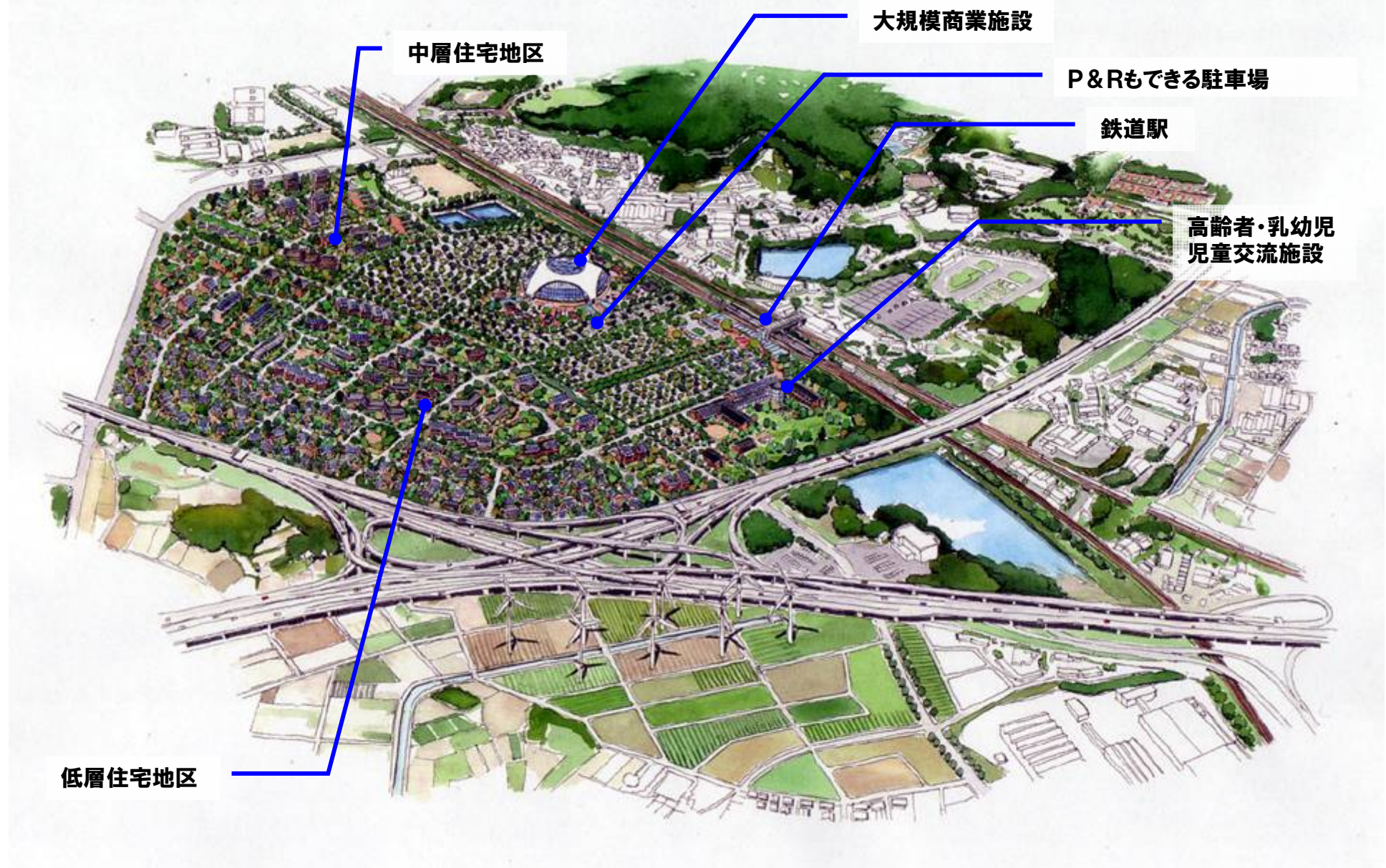


既存の公共交通の活用 — P&R



- 利用者は店舗の商品券を毎月購入(例えば1万円)
- 駐車料金は無料か運営実費分のみ
- 店舗は空き駐車スペースの有効活用で顧客が増える

駅を中心としたコンパクトな地区開発



エコビークルの共同利用

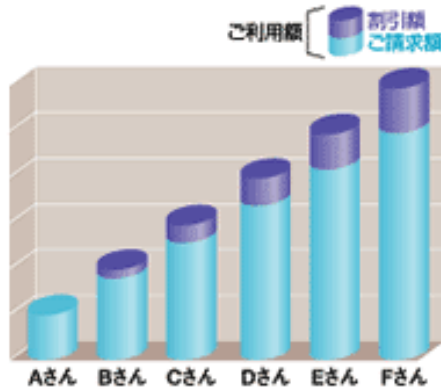


ICカードを用いた公共交通の様々な割引 PiTaPaの例

利用額割引

1ヶ月の利用金額に応じて割引

乗れば乗るほど割引額が加算!



利用回数割引

同一運賃区間の利用回数に応じて割引

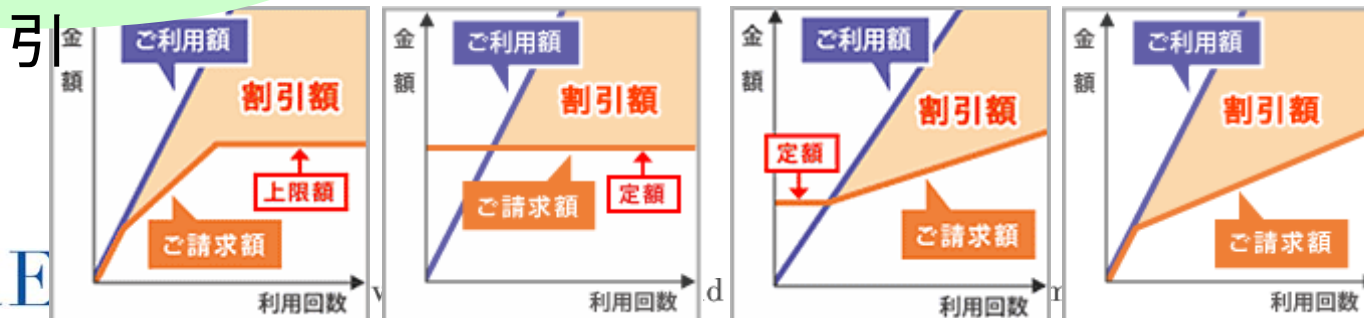
ポイント制度



利用金額に応じてポイント付与(大阪市交通局のみ)

区間指定割引

事前に利用区間を指定し、利用に金額に応じて割引

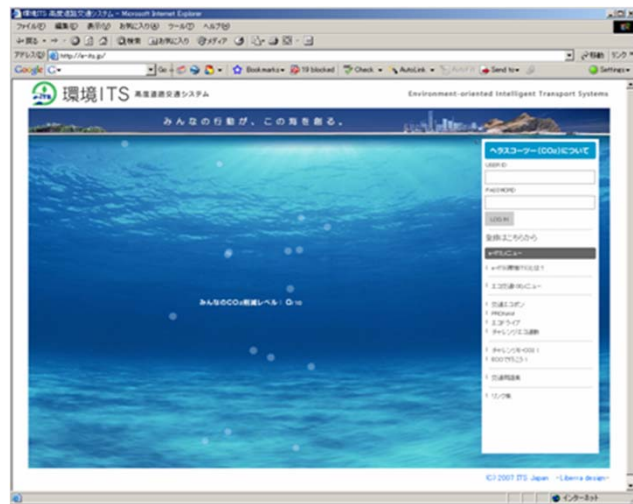


「環境ITS」によるモビリティマネジメント



ITSは車を便利にするだけのものではなく、エコ交通に積極的に活用できることを社会実験を通じてアピール

実験参加者による環境ITSポータルサイトのトップページの変化



エコ交通100メニュー

1. 参加・学習に参加しよう
2. 環境にやさしい交通手段を使ってみよう
3. エコドライブに取り組んでみよう
4. かしこく駐車場を使おう
5. 渋滞を避けよう
6. エコなライフスタイルに変えてみよう

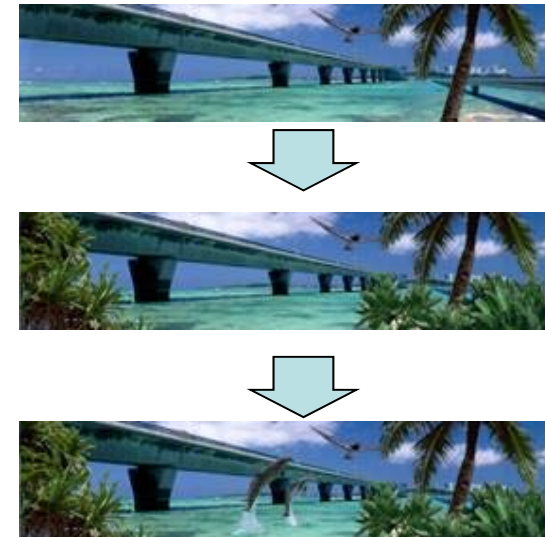


ポータルサイトにおけるマイページの作成

- 交通行動に関する環境負荷を個人で管理できる“マイページ”を作成
CO₂削減量／カロリー消費量を個人／参加者の平均で見ること可能
トップページ同様に個人のCO₂削減量に応じて海が変化



ステップアップの様子



簡易版MM 「ECOで行こう！」

ヘラスコーター - Microsoft Internet Explorer
アドレス https://e-its.jp/index.php
Google

環境ITS 高度道路交通システム
Environment-oriented Intelligent Transport Systems

ECOで行こう!

<『かしこいクルマの使い方』メニューを実施しよう!>

まずは、通勤・買い物どちらの行動についてECOで行くのかお答えください。
その後、あなたが実施した『かしこいクルマの使い方』メニューを選択してください。
最後に、実際に利用した交通手段と所要時間を入力してください。
登録ボタンをクリックすると、あなたの環境貢献度がわかります! レッツチャレンジ! ECOで行こう!

1. 登録したい今日の行動を選ぼう!

今日の行動は?

2. あなたが実行した環境に良い行動を『かしこいクルマの使い方メニュー』から選ぼう!

『かしこいクルマの使い方』には、環境にやさしい100のメニューがあります。詳しくは→『かしこいクルマの使い方メニュー100』

【かしこいクルマの使い方メニュー】
 ※メニュー内にある★の数が多いほど環境改善効果の高いものです。

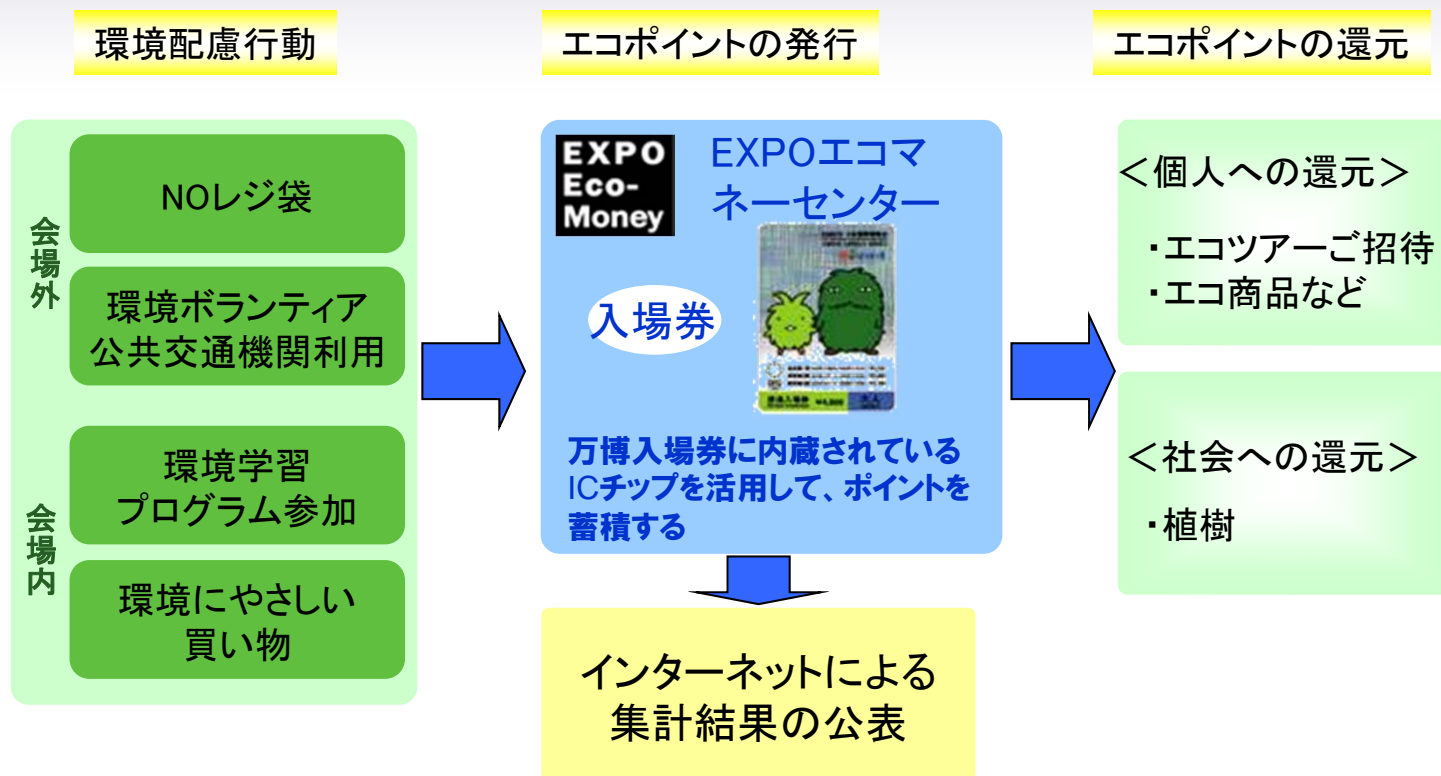
3. 利用した交通機関と利用時間を入力しよう!

交通機関	利用時間(分)	交通機関	利用時間(分)
徒歩	<input type="text"/> 分	自動車(一人)	<input type="text"/> 分
自転車	<input type="text"/> 分	自動車(同乗者あり)	<input type="text"/> 分
バイク	<input type="text"/> 分	自動車(送迎)	<input type="text"/> 分
バス	<input type="text"/> 分	タクシー	<input type="text"/> 分
鉄道	<input type="text"/> 分		

上記内容を入力し、登録ボタンを押して下さい。

ヘラスコーター (CO₂) HOME
ヘラスコーターについて
ECOで行こう!
チャレンジE-CO2!
統計情報
登録内容編集
LOG OFF
e-ITSメニュー
: e-ITS環境ITSとは?
: エコ交通100メニュー
: 交通エコポン
: PRONAM
: エコドライブ
: チャレンジエコ運動
: チャレンジE-CO₂!
: ECOで行こう!
: 交通用語集
: リンク集
: お問い合わせ
「モニター実験参加で、EXPOECO マネーが貯まる!」貯まったEXPO.E コマネーはエコグッズへの交換、または植樹に寄付できます。詳しくはこちら

愛知万博で始まったエコポイントシステム EXPOエコマネー



ほんの少しのインセンティブで市民の自発的な好環境行動が広がることを実証した

環境税のような罰金的なシステム以外にも、市民と企業の「自発性の連鎖」による環境好循環社会を築く可能性があることを示した

交通エコポイントシステム

環境に優しい交通行動(公共交通の利用など)にポイントが与えられ、貯めたポイントが再びエコ行動の促進に使えるシステム

2004年及び2005年に名古屋大学と名古屋市らにより2度の社会実験を行い、2006年10月からEXPOエコマナーの交通メニューとして本格実施



エコポン (名古屋市地下鉄、あおなみ線)



リニポン (リニモ)

交通エコポイント取得可能駅



車の都心部乗り入れ抑制の新しい方法

ロードプライシング (RP)

単なる有料道路とは違い、都心部に発生する交通渋滞や大気汚染などを改善することを目的に、特定エリア内の通行する車輦に料金を課すことで、交通量を抑制する政策

ドライバー

さらなる課税か！



エリア内事業者

お客が減って
売上げが下がる。



PDS : Parking Deposit System

乗り入れ課金に近い効果を持ち、より社会的受容性の高い代替案として駐車デポジット制度を提案

PDSの仕組み

課金対象

- 都心の規制エリアに流入する全ての車

返金対象（課金の全額または一部）

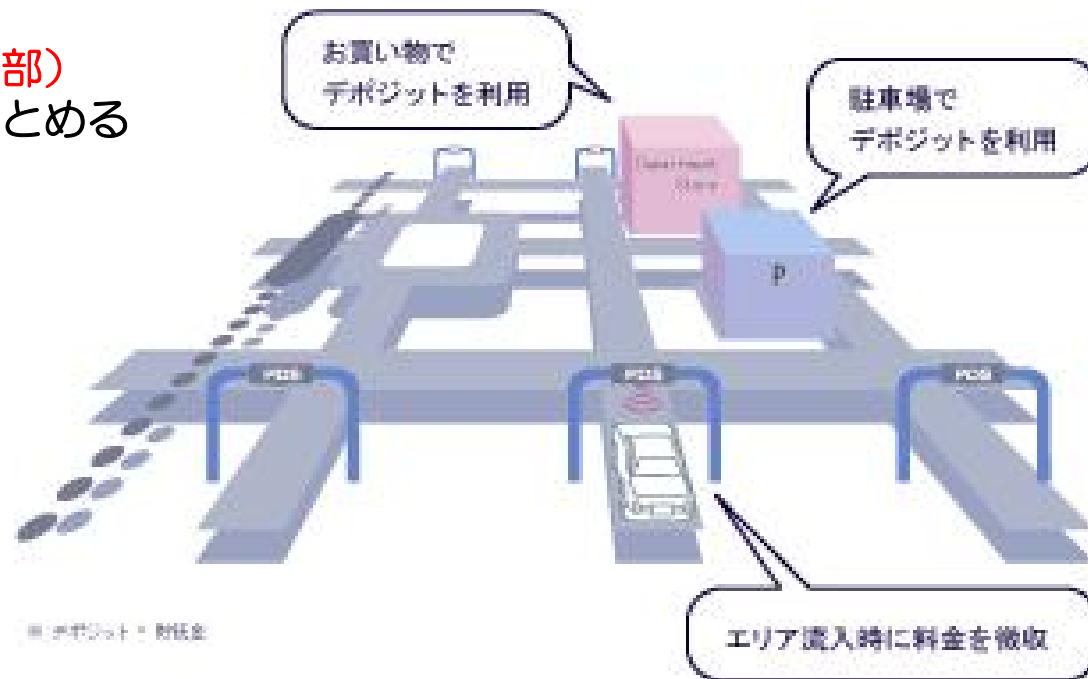
- エリア内で駐車場にクルマをとめる
- エリア内で買い物をする

都心への来訪者

- 負担の減少

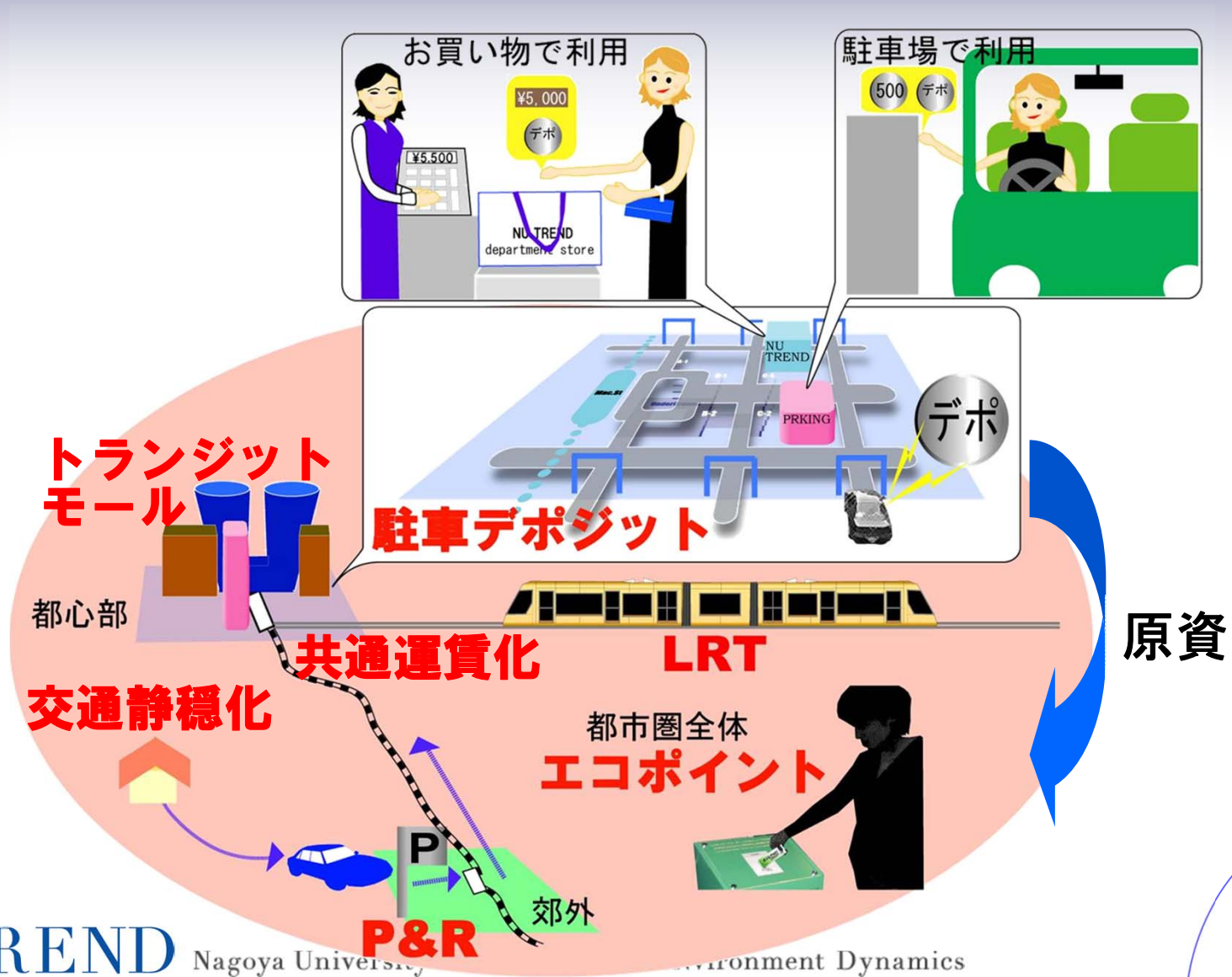
通過交通・違法駐車する車

- RP効果



返金額を変えることで、
エリア内への車の流入を柔軟にコントロールが可能

政策のパッケージ化が重要



めざせ、エコモビリティライフ先進県あいち

- ◎ もともと自動車の分担率の高いこの地域が率先して
 - 東京圏・京阪神圏を除いて全国的な傾向
- ◎ 愛・地球博やCOP10の開催で県民の環境意識が高揚
- ◎ 世界最大の自動車会社を有するこの地域が、世界の範たる交通モデル地域をつくる重要性

ご清聴ありがとうございました

